

山国川豪雨に匹敵

県南の
台風被害 防災エキスパートが感想



被災現場を調査する
進理事長（中央）ら

県建設技術センターは、
県職員OBで組織する県防
災エキスパート技術者を台

目。 26日、護岸が大きく破壊
された弥生元田の井崎川左

風18号の被害を受けた、豊後大野、臼杵、佐伯の3土木事務所に派遣。技術的アドバイスを被害状況の調査をした。派遣は7月の九州北部豪雨災害に続く2回

岸に、進秀人県建設技術センター理事長とともに派遣された大澤藤和さんは「これまで7月の日田の水害に比べて流木が少なく感じた。また、幅が広い川で、このような越水があったのは、短時間に想像を超える雨が降ったためと思う。山国川の24年7月の豪雨災害に匹敵するような被害だ。事務所での災害査定がスムーズにいくよう、全面的に支援する」と話した。

（加藤）